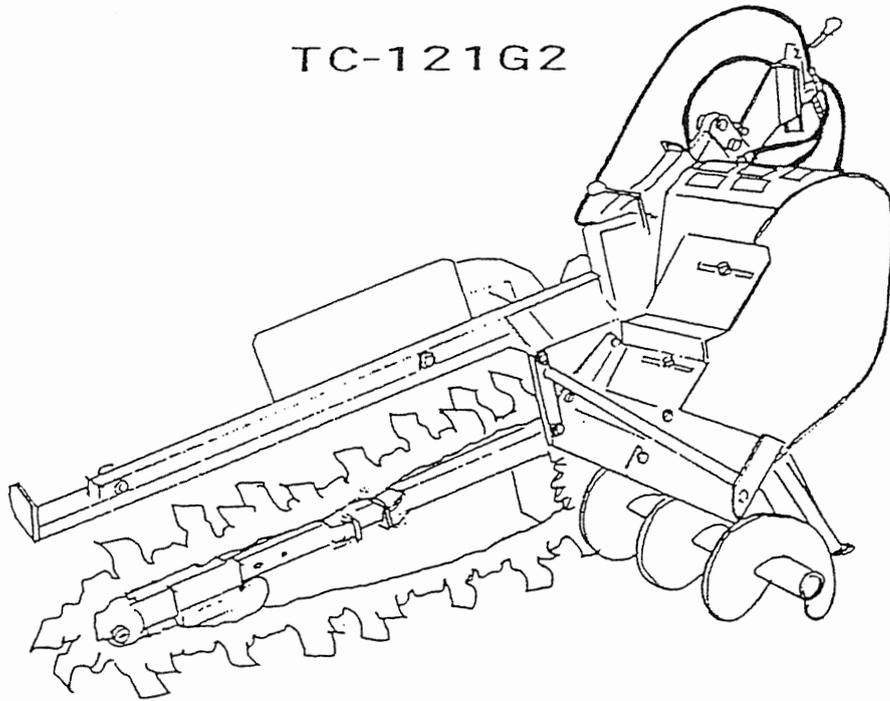


Sasaki

取扱説明書

掘取トレンチャー

TC-121G2



当商品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。使用前に必ずお読みください。お読みになった後も必ず商品に近接して保管してください。

目 次

はじめに	1
安全に作業するために	2
◎一般的な注意事項	2
◎作業の前に	3
◎トラクタへの着脱	4
◎路上走行	5
◎圃場の出入り	5
◎作業をしているとき	6
◎トラクタを止めるとき	7
◎点検や格納のとき	7
安全銘板貼り付け位置	8
保証とサービスについて	9
◎保証書について	9
◎アフターサービスについて	9
◎補修部品の供給年限について	9
1. 主要諸元	10
☆掘削刃の配列図	11
2. 各部の名称	11
3. 装着方法	11
4. 作業前の点検調整	13
5. 作業方法	14
6. 安全装置	15
保守管理	16
1. 作業シーズン中の保守管理	16
2. 作業シーズン終了後の保守管理	16
3. 定期点検一覧表	17
4. 保有部品について	17
5. 掘削チェーンの張り調整	18

ササキ商品をお買上げいただき、
誠にありがとうございます。

はじめに

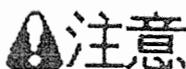
- この取扱説明書はトレンチャーの取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- トレンチャーは長いも等を収穫する作業機です。その他の目的で使用しないでください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡し下さい。
- この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかに当社又は当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・農協にご相談ください。
- ▲印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。



その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業をするために」を記載してあります。使用前に必ずお読みください。

安全に作業をするために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで安全な作業を行ってください。安全に作業するためにぜひ守っていただきたい注意事項は下記のとおりですが、これ以外にも本文の中で「▲ 警告サイン」として説明の都度取り上げております。

◎ 一般的な注意項目

▲ 警告 こんなときは作業をしない。

過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。

酒を飲んだとき。

妊娠しているとき。

18才未満の人。

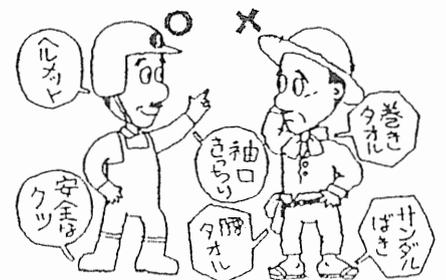


▲ 警告 作業に適した服装をする。

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した防護具などをつけ、だぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。



▲ 警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する。

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



▲ 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けないでください。



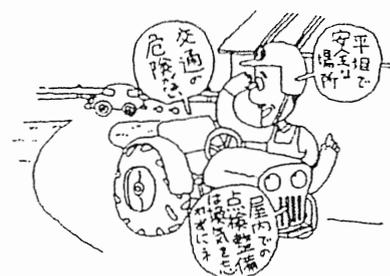
【守らないと】

事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

◎作業の前に

▲ 警告 作業点検整備は平坦で安定した場所で行う。

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所で、トラクタの前輪には輪止めをして点検整備してください。

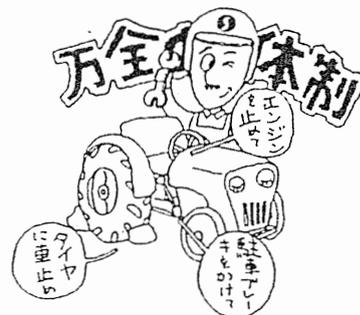


【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。

▲ 警告 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。



【守らないと】

機械の下敷きになるなど、障害事故をおこすおそれがあります。

▲ 注意

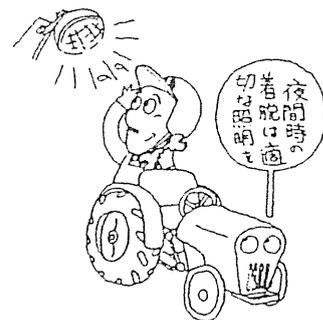
◇作業の前には点検・整備を行ってください。

◇各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。

◇カバー類を外したら、必ず取り付けてください。

◎トラクタへの着脱

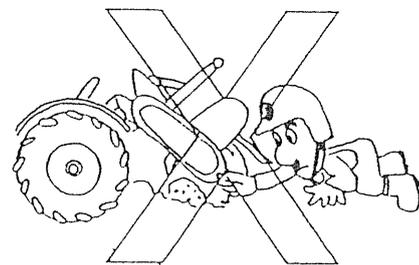
▲ 警告 作業機の着脱は平坦な場所で行う
作業機の着脱は平坦で安定した場所で行ってください。
夜間は、適切な照明をしてください。



【守らないと】

事故を引き起こすおそれがあります。

▲ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れない
作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないで
ください。



【守らないと】

何かの原因で作業機が下がったときに、障害事故を負うおそれがあります。

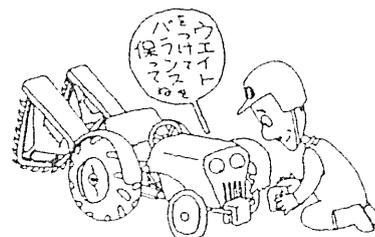
▲ 危険 運転時はジョイントカバーを外さないでください



【守らないと】

ジョイントに巻き込まれて障害事故をおこすおそれがあります。

▲ 警告 重い作業機をつけるときはウエイトでバランスを取る
重い作業機を装着したときは、フロントにバランス
ウエイトをつけてバランスを保ってください。



【守らないと】

バランスを崩して事故を引き起こすおそれがあります。

▲ 注意

- ◇トラクタから離れるときはエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてP T O変速を中立にしてください。
- ◇二人以上で着脱を行う場合は、互いに合図を確認しあって作業してください。
- ◇ユニバーサルジョイントの止めピンが確実に軸溝にはまっているか確認してください。
- ◇取付け部の止めピンが全て確実に装着されているか確認してください。

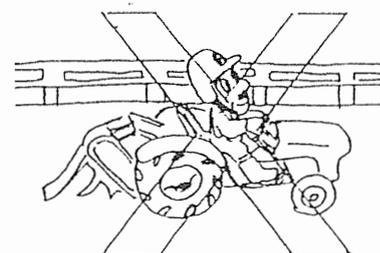
◎路上走行

▲ 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道走行をするときは、作業機を取り外してください。

【守らないと】

道路交通法違反です。事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 注意

- ◇トラクタ、作業機に運転者以外の人を乗せないでください。
- ◇作業機の回転を止めて走行してください。
- ◇トラクタの落下速度調整ハンドルを回して必ず油圧ロックをしてください。
- ◇旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。
- ◇作業機を装着した時、機体寸法が大きくなるので移動走行時は十分注意してください。
- ◇溝のある農道や両側が傾斜している農道では、路肩に十分注意して移動してください。

◎圃場の出入り

▲ 注意

圃場に入るときは、必ず前進で速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、アゼや段差に対して直角に進んでください。アゼや段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。

◎作業をしているとき

▲ 警告 回転部(爪、刃、軸等)に巻き付いた草等を取る時はエンジン停止

【守らないと】

機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。



▲ 警告 子供を近づけない

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故を引き起こすおそれがあります。



▲ 警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない

トラクタを移動して作業機と着脱するときは、トラクタの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】

傷害事故をひき起こすおそれがあります。



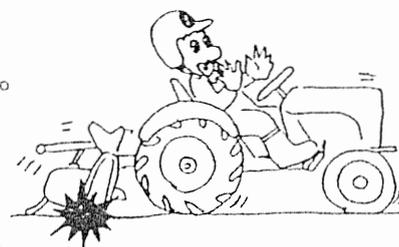
▲ 警告 作業機指定のPTO回転を守る

低速回転用の作業機を高速回転で使用しないでください。

作業機指定のPTO回転速度を厳守してください。

【守らないと】

作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引き起こします。



▲ 注意

◇補助作業者がいる場合は、動作ごとに合図をかわして下さい。

◇回転部分が動くところには触れないで下さい。

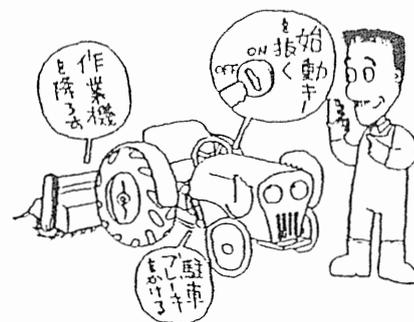
◎トラクタを止めるとき

▲ 警告 機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンを止める
機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、
エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け輪止めを
してください。

作業機を地面に降ろしてください。

【守らないと】

トラクタが動きだし、事故をおこすおそれがあります。

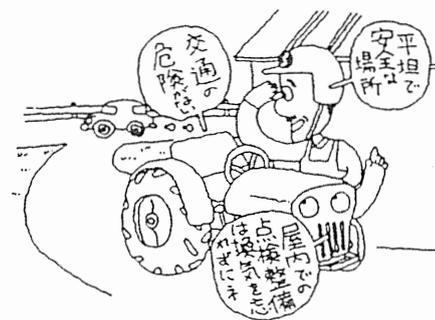


◎点検や格納のとき

▲ 警告 点検整備は平坦で安定した場所で行う
交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない
平坦で安定した場所で、トラクタの前輪には輪止め
をして点検整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれ
があります。



▲ 注意

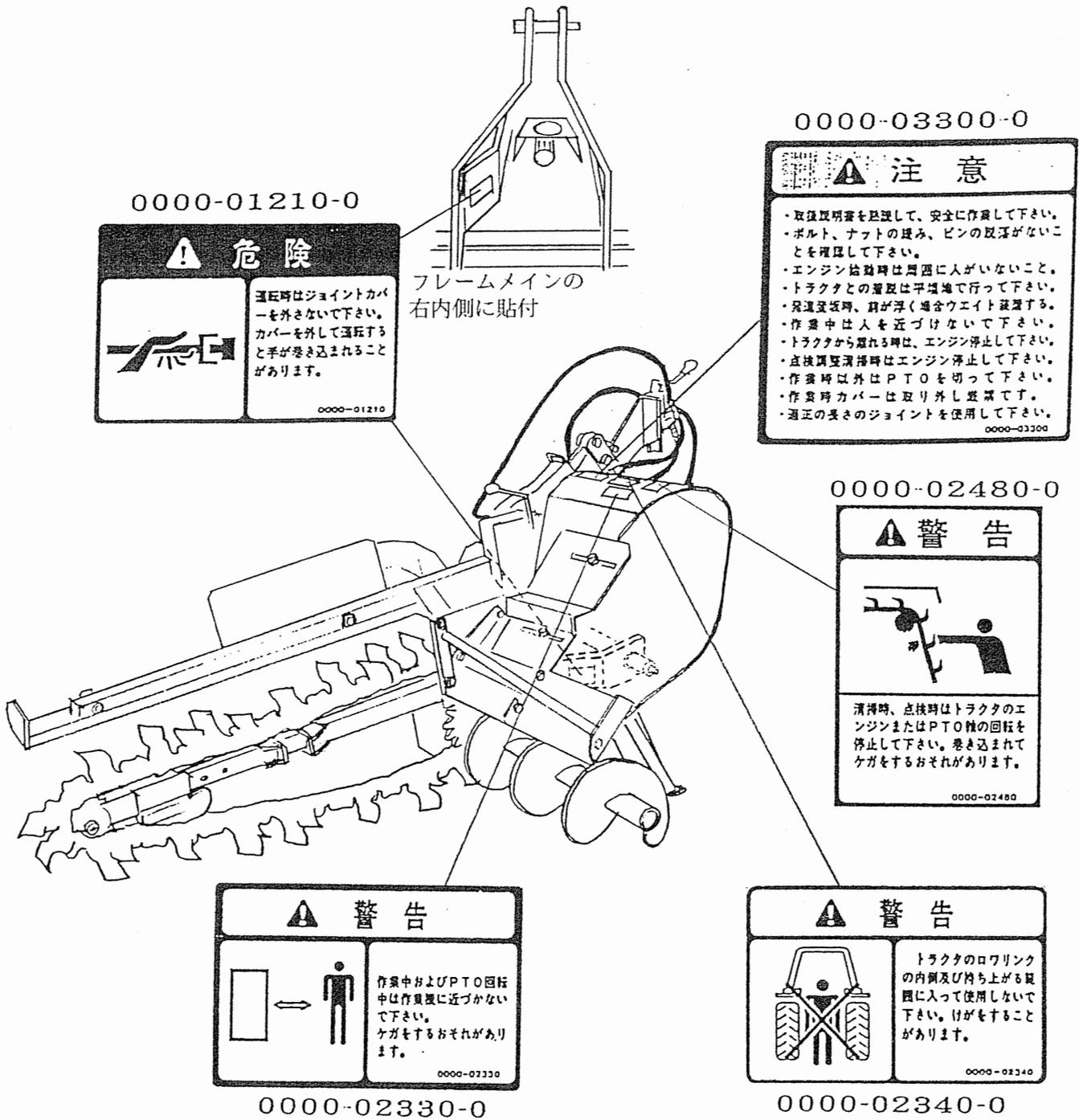
◇点検、整備時はトラクタのエンジンを止めてください。

◇機械の下にもぐったり、下で作業をしないでください。

◇キャスターなどが付いている場合、車止めをして作業してください。

安全銘板貼り付け位置

TC121G2



注意

☆安全銘板が破損したり、はがれた場合は、上記番号にて手配のうえ、貼り直してください。

☆新しい安全銘板を貼る場合は、汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

保証とサービスについて

◎保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

◎アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点等不具合がある場合はお買い上げいただいた販売店等へご相談ください。その際、次のことをご連絡ください。

◇型式名

◇製造番号

◇不具合状況

(どのような現象ですか?・・・)

◇ご使用状況は?

(どのくらい作業をしていましたか?・・・)

◇不具合が発生した時の状況をできるだけ詳しく

ご連絡ください。

(どんな作業をしていたときに?・・・)

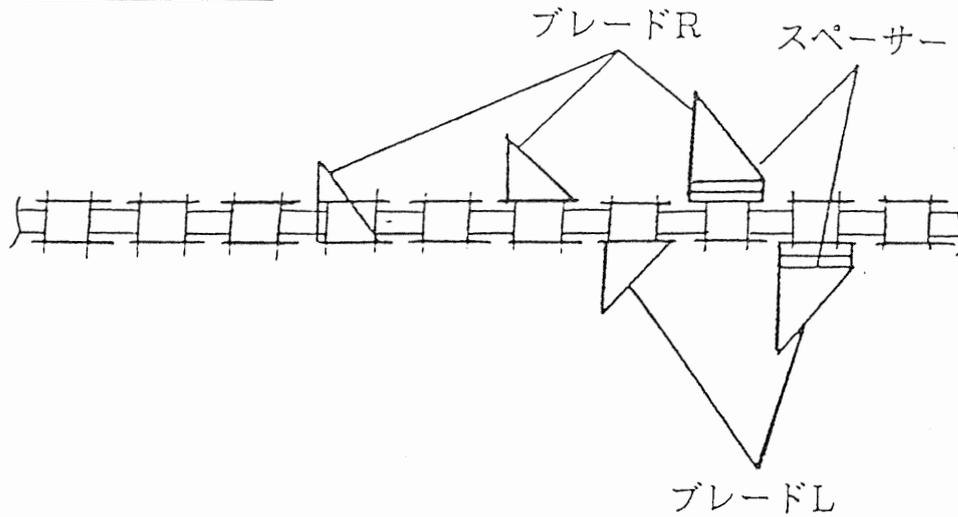
◎補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限は製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

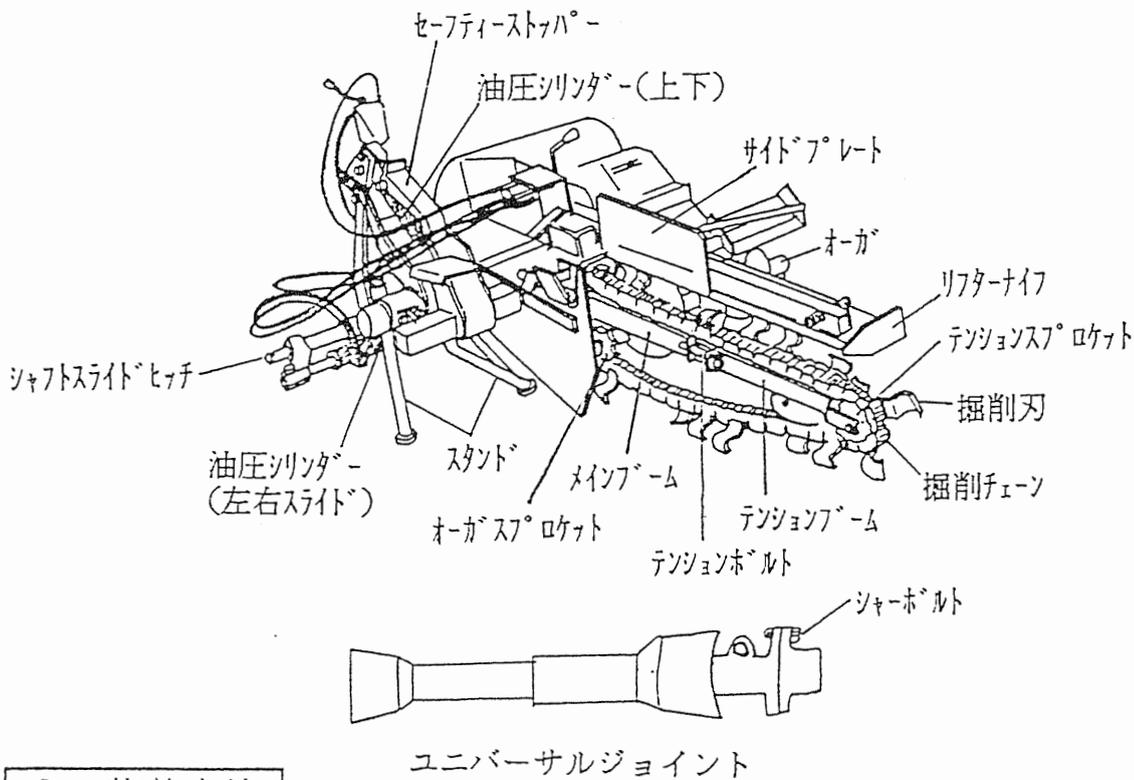
1. 主要諸元

型 式	TC-121G2
規 格(cm)	19×115
全 長(mm)	2,210
全 巾(mm)	1,985
全 高(mm)	1,180
重 量(kg)	300
最大掘削深(mm)	1,150
掘 削 巾(mm)	190
作業速度(km/h)	0.1~0.35
適応トラクタKW(PS)	22.1~36.8(30~50)

★ 掘削刃の配列図



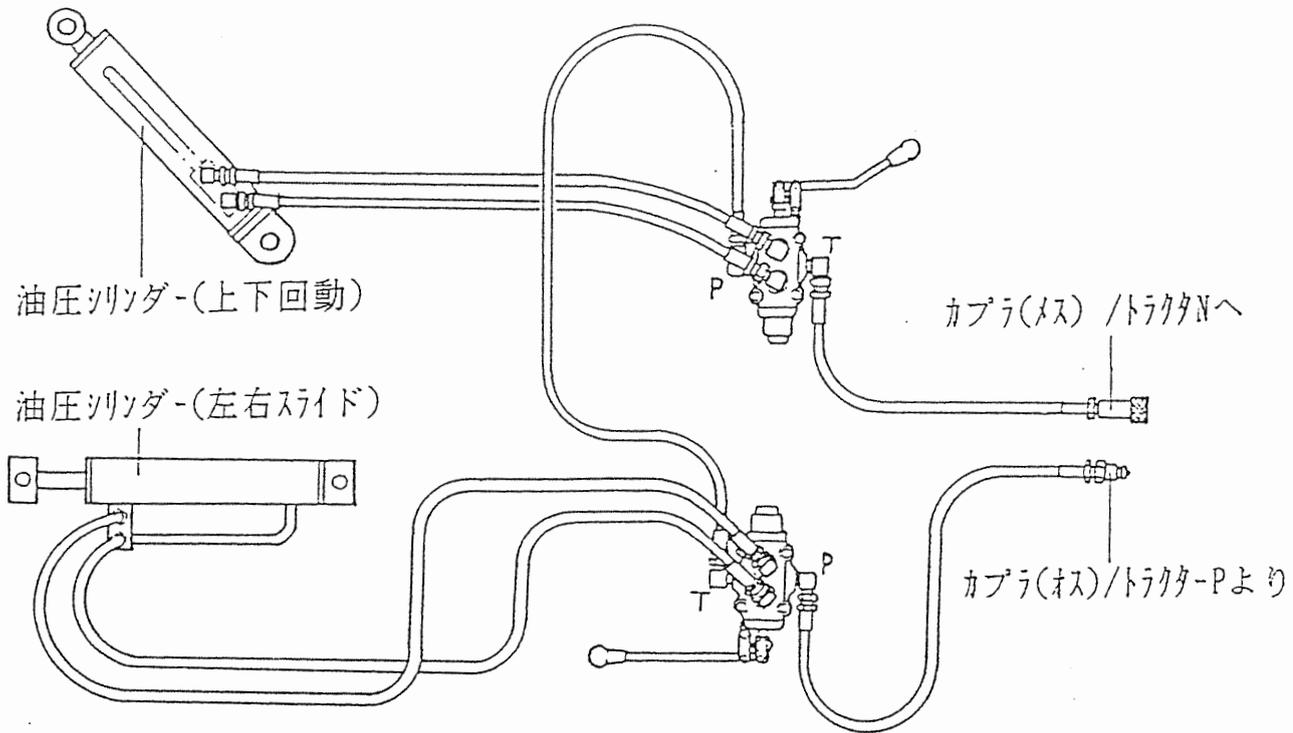
2. 各部の名称



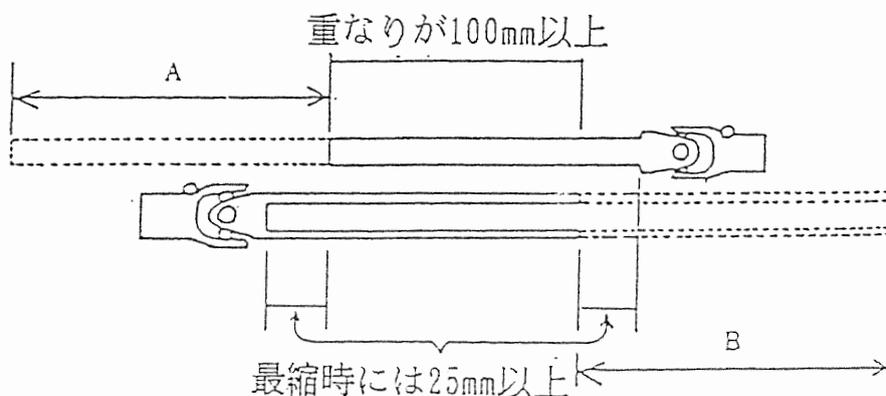
3. 装着方法

1. トラクタへの装着は平らな所で行って下さい。
2. トラクタのロワリンクが作業機の取付ピンに近い位置までトラクタを移動し、3点リンクの油圧レバーを下げてください。
3. 作業機の装着の時は作業機とトラクタとの間に入らないで下さい。
4. 着脱作業時はトラクタのエンジンを停止して下さい。
5. トラクタの左のロワリンクに作業機のピンをセットして下さい。
6. 右のロワリンクはレベリングハンドルで調整しながらセットして下さい。
7. トップリンクをセットして下さい。

8. 作業機の油圧ホースをトラクタの取出しカプラに連結して下さい。
 ★ 油圧レバーの動きとトレンチャーの動きを確認し、後に誤操作のないように連結して下さい。



9. 3点リンクを上げてスタンドを上側にします。
 10. 機体の横振れ防止のため、本機を上げてチェックチェーンを左右同じに張って下さい。
 11. ユニバーサルジョイントを取り付けて下さい。ユニバーサルジョイントの長さは、トラクタの機種により異なりますので必ず適正な長さに切断してから装着して下さい。
 ★ ユニバーサルジョイント切断の場合、黄色いポリカバーも同じ長さで切断して下さい。又、ジョイントの最伸時には100mm以上の重なりが必要であり、最縮時には25mm以上の間隔が必要です。



A・Bの長さは同じに切断して下さい。(A=B)

12. ユニバーサルジョイントのチェーンは、カバーが回転しないように本機及びトラクタに各々固定して下さい。
13. 以上装着が完了しましたら、3点リンクをゆっくり上下し、又、シリンダを伸縮させてユニバーサルジョイント、フレームなどが他に接触していないことを確認して下さい。

《注 意》

装着の際に、2人以上で作業を行う時は、合図を掛け合い確認し合いながら安全に充分注意して操作して下さい。

4. 作業前の点検調整

1. ボルト・ナット・ピン類の点検

- 1) 掘削部を浮かして調整する場合は必ずシリンダー固定金具をセットして下さい。
- 2) 各部のボルト・ナットの脱落や緩みのないことを確認して下さい。
- 3) ピン類などの脱落のないことを確認して下さい。

2. 給油及びオイル量の点検

- 1) ユニバーサルジョイントの給油をして下さい。
- 2) その他ピン類などのスライド部に注油して下さい。
- 3) ギヤケースのオイルを確認して下さい。

3. バランスウエイトの装着

- 1) 作業時に前輪が浮き上がる場合はトラクタのフロントにウエイトなどを装着して前輪の浮き上がりを防止して下さい。

4. 動作の確認

- 1) 3点リンクをゆっくり持ち上げて下さい。
 - 2) サブコントロールレバーを操作し、掘削部が上下あるいは左右に作動することを確認して下さい。
- ★ この場合、トラクタの油圧用の油量が不足する場合がありますので補給して下さい。
上下のシリンダーを操作するときは必ずシリンダストッパーを外して下さい。
- 3) P T Oを低速で回転させて異常のないことを確認して下さい。
 - 4) 掘削チェーンは張りすぎたり緩みすぎないようにします。

★ 機械を動かす前に、周囲に人がいないことを充分確認して下さい。

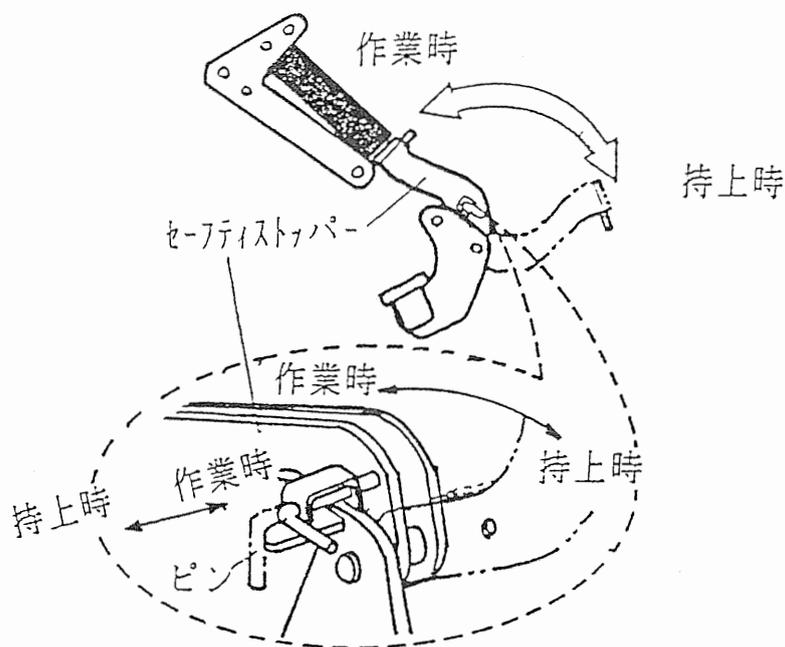


5. 作業方法

1. 作業手順

- 1) 掘削する場所に機械をセットして下さい。
 - 2) シリンダー固定金具を取り外して下さい。
 - 3) 3点リンク高さをセットして下さい。
 - 4) シリンダーを伸ばし掘削部を地表面まで下げて下さい。
 - 5) 走行レバーを微速1速に、PTOレバーを2～3速にセットして下さい。(エンジンはできるだけ低速に)
 - 6) シリンダーをゆっくりのぼしながら、所定深さまで掘り下げます。
- ★ ブレーキペダルを踏んでいて下さい。

- 7) 掘削部が所定深さまで入ったらシリンダーロッドにセーフティストッパーをセットし、ピンでロックしてシリンダを固定します。



- 8) エンジン回転を徐々に上げて作業を開始します。
9) 掘削作業が終点まできたら、走行レバーをニュートラルにし、ブレーキペダルを踏んでエンジン回転を下げます。
10) P T Oレバーをニュートラルにしてからセーフティストッパーを外します。
11) 3点リンクを上げて掘削部を持ち上げ、その後上下シリンダーを縮めて掘削部を地表に出します。
12) 作業が終了したらエンジンを止め、シリンダー固定金具、3点ヒッチの絞り弁を締めて作業部を固定します。

安全装置

- 1) 本機は掘削部に過負荷等の異常が生じた場合には、特殊ユニバーサルジョイントのシャーボルトクラッチにより自動的に動力の伝達が遮断されます。
2) シャーボルトサイズはM8×4.5-7T(全ネジ)です。純正以外のボルトは絶対に使用しないで下さい。
* シャーボルトクラッチが作動した場合は、必ずその原因を取り除いてシャーボルトの交換をしてから作業して下さい。

2. 作業上の注意事項

- 1) 掘削部が地上にある場合は、必要以外絶対に回転させないで下さい。
- 2) 作業においてはP T O 5 4 0 rpm、車速0.35 km/時以下を厳守して下さい。
- 3) 作業中に異音等が発生した場合は速やかに作業を中止し、確認、対処して下さい。
- 4) 運転者が運転席を離れる場合は、必ずエンジンを止めて下さい。
- 5) 作業は始点から終点まで直線に行ってください。
- ★ 蛇行運転はしないで下さい。
- 6) 作業中、補助作業者等はできるだけ離れて作業をして下さい。
- ★ 機械に人を近付けないで下さい。
- 7) 作業中、ジョイント・オーガー・チェーンの各回転部には絶対近付かないで下さい。

6. 保守管理

1. 作業シーズン中の保守管理

- 1) 作業終了時には、各部に付着した泥等を取り除き、水洗いして給油を行ってください。
- 2) ボルト・ナット類の緩み及びピン類の脱落がないかを点検して下さい。

2. 作業シーズン終了後の保守点検

- 1) 各部の水洗い等をし、土や巻き付いた異物等を完全に除去して下さい。
- 2) 消耗部や破損箇所を確認し、交換又は修理しておいて下さい。
- 3) 格納の際には、チェーン等に排油又はグリース等を塗油しておいて下さい。
- 4) 油圧シリンダーは最後まで縮めておいて下さい。
- 5) 油圧ホースのカプラにはキャップをして、ゴミや土が付着しないようにして下さい。
- 6) カバー類に補修塗装しておいて下さい。
- 7) 各部のボルト・ナットの増締めをして下さい。
- 8) 格納場所は機械が安定するように注意して下さい。

3. 定期点検一覧表

★ オイルグリースの給油基準(オイルは早めに交換して下さい。)

給油箇所	種類	容量	1回目	交換時間
ミッション	ギヤオイル#80	1ℓ	20時間	50時間
クロスジョイント	グリース	ジョイント部及びスライド部, 使用時毎		
ホルダー	グリース	スライド部, 使用時毎		
油圧シリンダー	グリース	スライド部, 使用時毎		
シャフトスライドヒッチ	グリース	スライド部, 使用時毎		
テンションスプロケット	グリース	4時間毎		

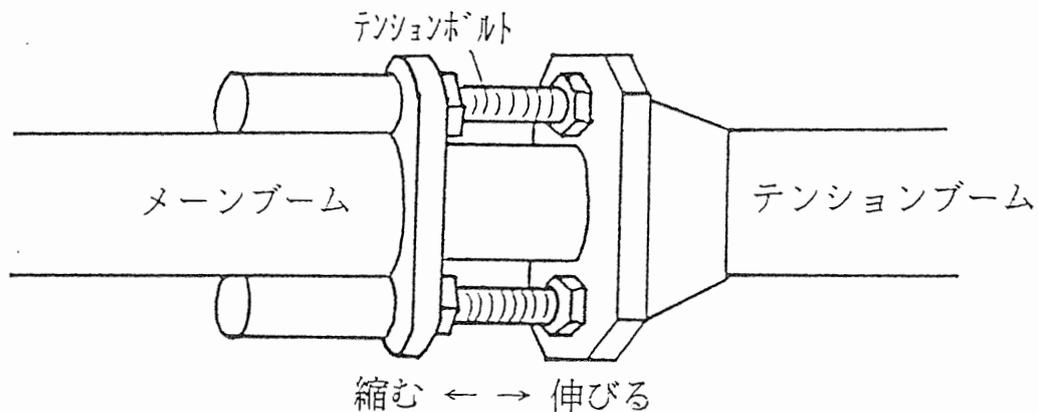
4. 保有部品について

トレンチャー作業の場合、土質条件により掘削刃、チェーン、スプロケット等の消耗が著しく異なります。スムーズに作業を行えるために、下記の保有部品は早めに準備しておいて下さい。

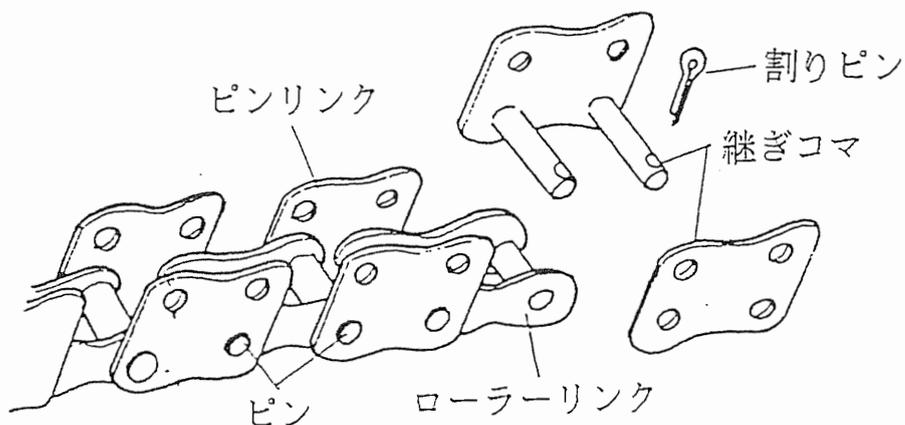
部品番号	部品名	常時保有	平均消耗度	交換時期
V33-151000-0	掘削刃	1set以上	5,000m	
V33-113500-0	駆動スプロケット	1ヶ	8,000m	刃が1/2消耗したら交換
W47-313100-0	テンションスプロケット	1ヶ	8,000～10,000m	〃
V33-315100-0	オーガスプロケット	1ヶ	8,000～10,000m	〃
V33-152100-0	掘削チェーン	1本	10,000m	ローラーに穴があいたり割れたりする
W47-152120-0	チェーン継ぎコマ	3set		
V33-152110-0	ローラーリンク	3set		
01402-16100	テンションボルト	2本		
	掘削刃取付ボルト	1台分		掘削刃交換時
	油圧ホース	各1	1ヶ年	ホースにヒビ割れができる

5. 掘削チェーンの張り調整

- ① 作業後掘削チェーンが弛んだ場合は、テンションボルトを伸ばしチェーンを張って下さい。



- ② テンションボルトを最高に伸ばしてもチェーンの弛みが大きい場合は、チェーンの継ぎコマを1個抜いて下さい。
チェーンが縮まります。



※リフターナイフ及び左側オーガは出荷時に装着されていません。
土質的に必要な場合は各々付属のボルト各4本でお取り付け下さい



株式会社

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

ササキコーポレーション

本社・工場 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111	FAX 0176-22-8607
営業部 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170	FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170	FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354	FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631	宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780	FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201	栃木県小山市栗宮1241-9	TEL 0285-45-8911	FAX 0285-45-8910
長岡営業所 / 〒954-0124	新潟県長岡市中之島字1982-13	TEL 0258-66-0888	FAX 0258-66-0988
岡山営業所 / 〒702-8002	岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508	FAX 086-274-9510